

広報

ふじ

NO. 112

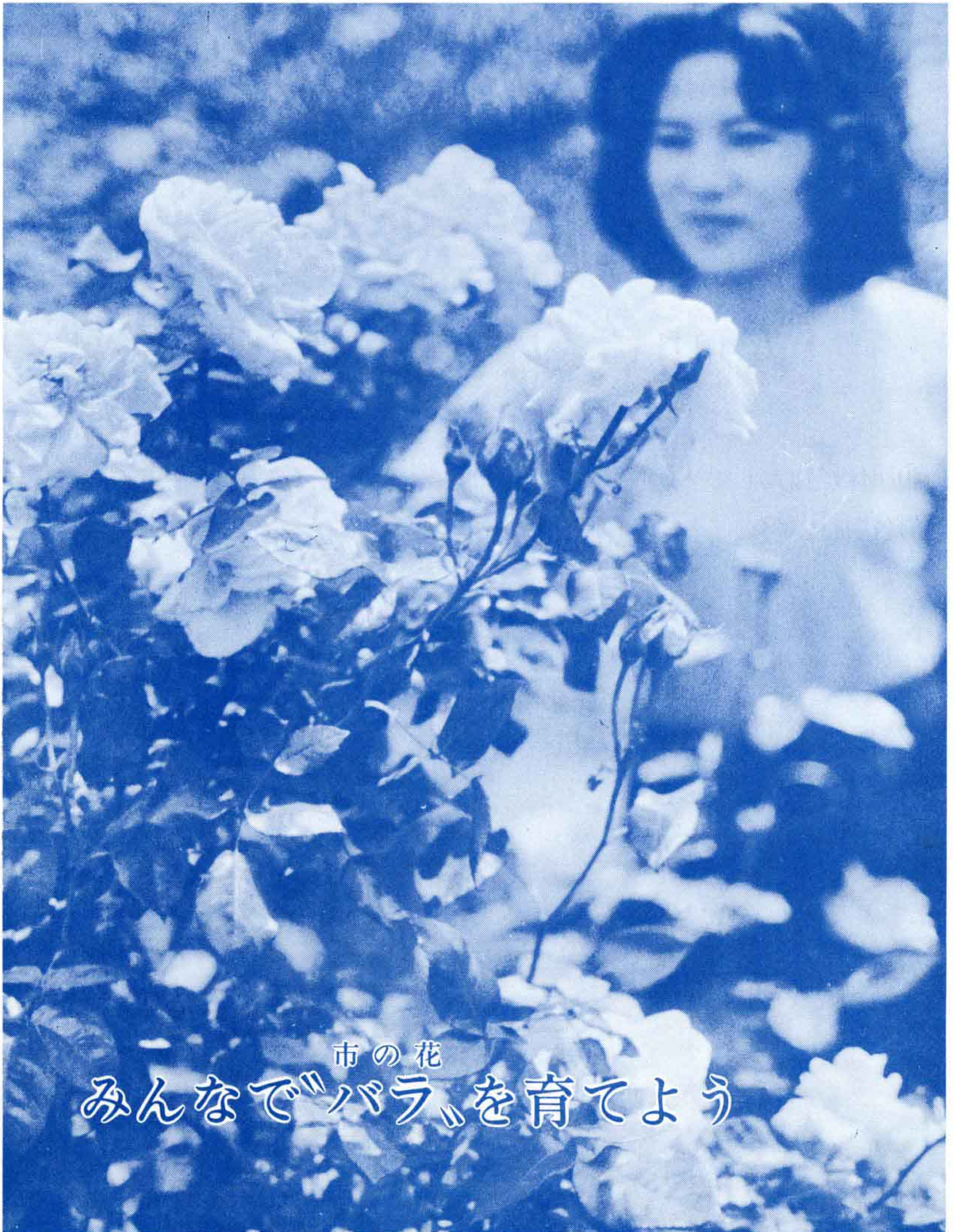
47.5.25 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



市の花
みんなで「バラ」を育てよう

緑をふやす運動を市民総ぐるみで進めていこうと「富士市緑いっぱい市民の会」が発足しました。発

会式は5月15日、40団体の代表者や個人会員が参加して、行なわれました。会長には、町内会長会の安倍留吉さん（入山瀬）、副会長

に花の会の米山務さん（泉町）と連合婦人会の今泉春枝さん（市場町）が選ばれました。



「みどりいっぱい市民の会」が発足

40団体が加入して 5月15日に発会

失われていく自然を守り、美しい緑とひろびろとした空間をつくる。潤いのある町づくりは、短期間で、また、市民みなさんの協力なくしては達成できません。市と市民が一体となつて緑化運動を進めていく。

このため市の中にも緑化を専門に担当するみどりの課を5月から設置して、害虫の駆除や緑化推進をはかっています。また、花の会や婦人会、ボーイスカウト農協など40団体に緑化を進める市民会議



【発会式のあと記念植樹】

の設置を呼びかけてきました。この市民のあつまりが「富士しみどりいっぱい市民の会」で、5月15日発会式を行ないました。

緑いっぱい市民の会は、自分たちが住み、生活する富士市に、自分の手で積極的に緑をふやし、全員が新しい都市づくりへ参加するためのものです。

記念植樹や造園相談 などの事業を

緑いっぱい市民の会の総予算額は、35万2000円で、大部分が市民の緑化意識を高めるための事業費として使われますが事業計画のおもなものは、次のとおりです。

- 学制100年記念樹苗木の配布
今年で、学校制度が制定されてから100年目にあたるので、小中学校へ記念樹苗木の配布を行ないます。
- 家庭内への1本植栽運動の推進
緑を愛し、緑を守る精神は、自分で1本の苗木を植えることから始まります。家庭への花木など1本植栽運動を進めるため、種苗組合の協力を得て、「市民苗木市」を開き、苗木のあつせんを行ないます。
- 家庭造園相談所の開設
造園組合などの協力で、無料相談所を開設して、家庭の庭づくりなどの相談を受けます。

このほか、緑の愛護と市民緑化意識の高揚、市民の森（仮称）造成運動の展開工場及び商店街緑化の推進などを行ないます。

宣 言

緑豊かな美しいまちは、市民ひとりひとりの願いです。しかし、最近の私たちのまちの姿は、公害や都市化によつて、空気は汚れ、緑は日ごとに失われつつあります。

いまこそ、このような傾向に歯止めをしなければなりません。

- 緑は、空気をきれいにします。
- 緑は、快よい気象を保ちます。
- 緑は、やすらかな木陰をつくってくれます。
- 緑は、楽しい四季の訪れを教えてください。
- 緑は、まちを美しく衣替えしてくれます。
- 緑は、災害を防いでくれます。

私たちは、このような緑の効用を改めて認識したいと思います。住みよい生活環境を自らの権利として確保し、次代に引継いでいかなければなりません。

私たちは、「緑いっぱい、市民の会」の発足にあたり、全市民の総力をあげて緑を残し、緑を育てる運動を積極的に展開し、美しく楽しく豊かに住める郷土の建設を誓います。

はじめて全測点が0.05 P P m以下に



昭和43年から、富士保健所や元吉原中学校など7カ所でイオウ酸化物の測定を行なっていますが、市が47年度に目標としていたイオウ酸化物の年平均値0.05 P P m以下を46年度で達成しました。しかし、1日平均が0.05 P P m以下の日数は、まだ不足しているため、さらに厳しい指導基準を設けていきます。

昭和44年度から46年度までの3カ年間のイオウ酸化物測定結果(下図)が、このほどまとまりました。測定結果を集計したところ市が昭和47年度に目標としていた、イオウ酸化物の年平均値0.05 P P m以下を46年度において全測定点で達成していることがわかりました。

イオウ酸化物の測定は、昭和43年10月から汚染のひどいと思われた地点6カ所(富士保健所・元吉原中など)と、あまり汚染されていない地点1カ所(大淵中)計7カ所に自動記録計を設置し測定をはじめました。測定をはじめたころは、大淵中をのぞく全測点で、高濃度のイオウ酸化物が測定され、環境基準を大きく超えていました。このため、市独自で国の排出基準より厳しい指導基準を設け、大手企業と「公害防止協定」を結びました。各企業は、施設の改善や重油の低イオウ化などに努力してきました。

昨年の測定結果をみると、厚生省の定めた環境基準4条件をすべて満たしてい

るのは、7測点のうち大淵中と鷹岡公民館の2測点だけです。しかし、他の測点も3条件は満たし残すは1日平均の環境基準(0.05 P P m以下の日数が70%以上)で、あと一步の努力が要求されます。

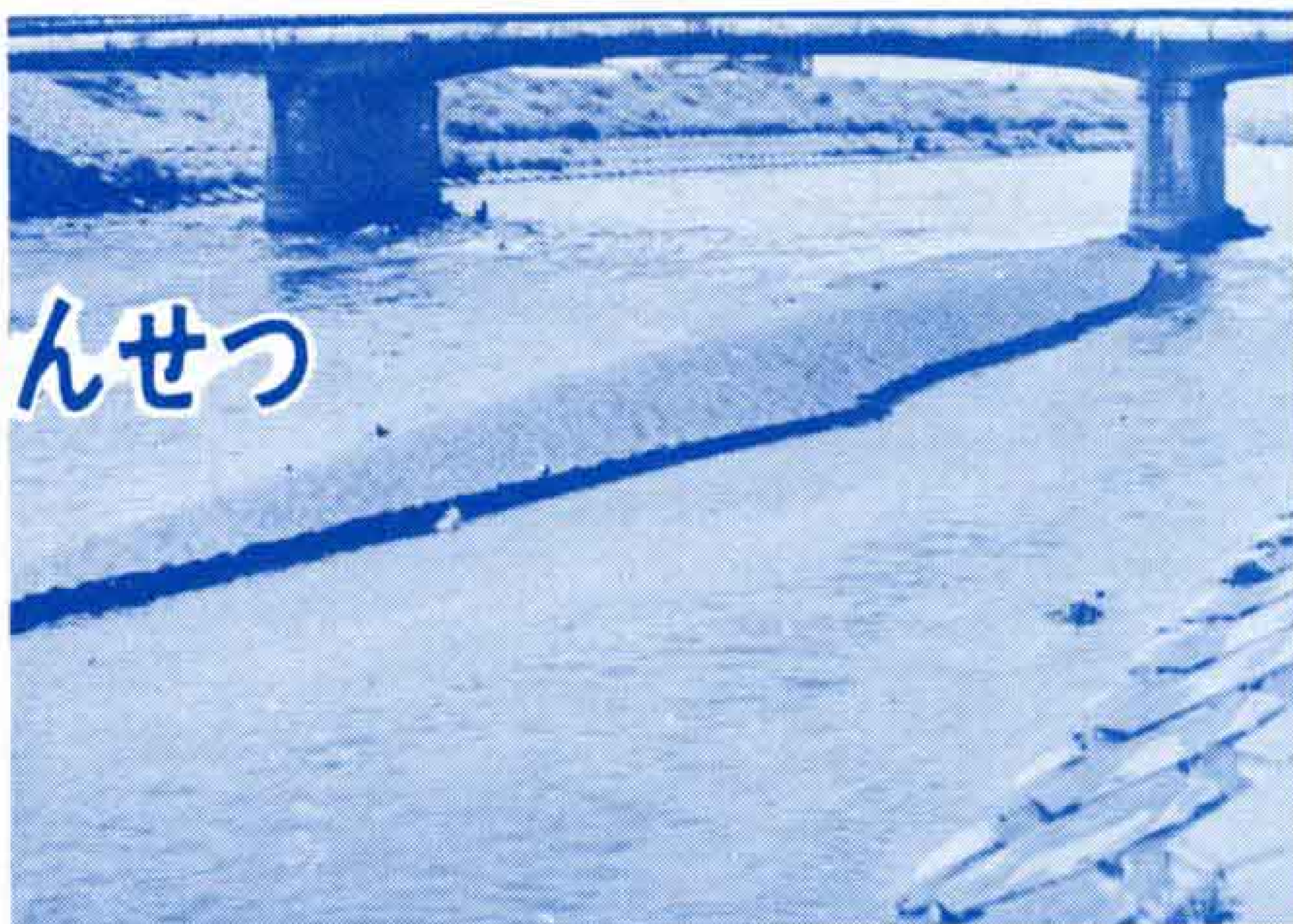
このほか、46年度は富士南中、田子浦農協、岩松農協、伝法小、天間南、大野町公会堂の6カ所に移動測点を設け、イオウ酸化物の調査を行ないました。この結果富士南中、大野町公会堂など5カ所では、高濃度の出現はありませんでした。しかし、伝法小の測点は、7月から3月までの間に数回0.05 P P mを上回るなど、予想以上の高濃度を記録しました。

高濃度が測定されたのは、伝法地区の中小工場11社の影響と思われるので、今後伝法小の測定は引き続き行なつていきます。なお、今泉地区はこれまで測定を行なつていませんでしたが、今年度移動測点を設けて測定します。

自動記録計によるイオウ酸化物測定値 (市内7カ所・昭和44年4月～47年3月)

測定場所	測定期間	測定日数	総時間数	1時間値の 期間平均 P P m	0.1 P P m以下の 時間数	同左%	1時間値が 0.2 P P m 以下の時 間数	同左%	1日平均が 0.05 P P m以下の 日数	同左%
富士保健所	44.4~45.3	310	6.992	0.058	5.883	83.6	6.952	99.4	136	43.5
	45.4~46.3	327	7.120	0.062	6.267	88.0	7.107	99.8	89	27.2
	46.4~47.3	365	8.550	0.049	8.224	96.2	8.549	99.9	194	53.2
吉原第3中学校	44.4~45.3	359	8.377	0.066	7.009	83.7	8.236	98.9	102	29.0
	45.4~46.3	361	8.161	0.050	7.536	92.3	8.143	99.8	196	54.3
	46.4~47.3	365	8.475	0.047	7.947	93.8	8.454	99.7	230	62.5
勤労青少年会館	44.4~45.3	355	8.260	0.049	7.899	95.1	8.255	99.8	204	57.3
	45.4~46.3	359	8.263	0.049	7.719	93.4	8.245	99.8	201	56.0
	46.4~47.3	365	8.551	0.043	8.195	95.8	8.538	99.8	250	68.5
元吉原中学校	44.4~45.3	326	7.494	0.075	4.925	67.8	7.373	98.4	87	26.7
	45.4~46.3	331	7.494	0.059	6.255	83.5	7.467	99.6	115	34.7
	46.4~47.3	365	8.432	0.048	7.969	94.5	8.428	99.9	205	56.2
富士中学校	44.4~45.3	347	8.136	0.050	7.584	93.2	8.124	99.8	173	50.0
	45.4~46.3	329	7.481	0.049	6.936	92.7	7.474	99.9	183	55.6
	46.4~47.3	360	8.104	0.043	7.736	95.4	8.098	99.9	247	68.6
鷹岡公民館	44.4~45.3	349	8.056	0.053	7.646	94.8	8.063	99.9	143	40.1
	45.4~46.3	344	8.001	0.051	7.568	94.6	7.992	99.9	167	48.5
	46.4~47.3	345	7.710	0.042	7.378	95.7	7.704	99.9	249	72.2
大淵中学校	44.4~45.3	136	3.093	0.028	3.025	97.7	3.090	99.9	121	89.0
	45.4~46.3	338	7.707	0.026	7.626	98.9	7.705	99.9	321	95.0
	46.4~47.3	351	7.880	0.026	7.818	99.2	7.880	100	343	97.7
環境基準	1年間	365日	8.760	0.050		88%以上		99%以上		70%以上
市内7カ所 平均値	44.4~45.3 45.4~46.3 46.4~47.3			0.056 0.049 0.043		87.2 92.0 95.8		99.4 99.8 99.9		44.3 53.2 68.3

大沢崩れの土砂しゅんせつ



潤井川の取水口を重点に
5月23日から作業を開始

富士山大沢を水源にした潤井川に、5月1日と5日の大雨で大量の土砂が流れ込み、一部は田子の浦港にまで堆積しました。潤井川は、富士宮市から市内に流れ込んでいる延長約30kmの2級河川。鷹岡岩松、富士、伝法など川ぞいの地区では農業用水に利用しています。これらの地区の大部分は水田で、600haの水田から約2520トンの米がつけられています。

大量の土砂が流れ込んだ潤井川の水は土色に変わり、川の中に州ができています。大沢くずれの土砂は、岩が雨や風で自然にけずられたもので、乾燥するとコンクリート状に固まり、水が浸透しにく

くなつてしまいます。

土砂が水田に流れ込むと、農作物に多くの被害が出ると予想されましたが、まだ、田植期には早かつたので、取水しているところはなく、水田に土砂は入りませんでした。しかし、田植がはじまる6月になると、どうしても水門を開いて水を引き込まなければならないので、川床の土砂を取りのぞかなければなりません。このため、市は、県に早急に潤井川のしゅんせつを行なうよう要請しました。

そこで、県は、田植前に土砂を取りのぞくことを了承し、5月23日から作業をはじめました。作業は農業用水の取水口

付近を重点に行なつています。

なお、田子の浦港に流れ込んだ土砂は約27000立方mで、潤井川の河口付近で干潮時には、底が出てしまいました。このままにしておくと、ますます広がり船の出入にも支障をきたすので、陸と海の両方からしゅんせつを行ない、20日までに約3分の1を取りのぞきました。現在でも毎日すこしづつ土砂が流れ込んでいますが、上流部のしゅんせつが進めば、しだいに量も少なくなるので、作業は今月中に終る予定です。

【写真は川の中央に州ができた潤井川】

アメリシロいまが駆除のチャンス



【産卵中のアメリカシロヒトリ】

アメリカシロヒトリが、吉原、今泉、富士駅南、駅北地区に発生しています。アメリカシロヒトリが、市内ではじめて発生したのは、昭和41年で、今年は昨年より1カ月近くも早く、大発生のきざしが見えています。被害のでている樹木は、ポプラ、サクラ、プラタナス、アオギリ、キョウチクトウで、なかでもポプラが一番被害がでています。

アメリカシロヒトリは、いつたん発生すると数年間は増加するという

特色があり大量産卵すると2~3年で減少する習性があります。したがって、大量産卵の時期に駆除を行えば、一番効果があります。

丁度今年が大量産卵の時期にあたるので、市でも「みどりの課」を中心に徹底した駆除を行なっています。駆除は、発生した枝を切り取って焼くのが一番ですが、薬剤にも弱いので、散布も効果があります。なお、薬剤を使つて駆除する場合はみどりの課へご相談ください。

電話番号は正しく回して
市役所は『51-0123』

市役所の電話番号は51-0123。すでにみなさんご存知と思います。ところが局番を間違えて、かける人が多くいます。間違いやすい局番は52局で、1日に60~70回もかかってくるそうです。市役所の電話番号は51-0123ですから正しくダイヤルしてください。

市役所の電話番号は
51-0123番
です!!





【八十八夜に県茶業試験場で行なわれた手もみ茶講習会】

晩霜で新茶は2割高

最近、若い人はお茶をあまり飲まなくなりましたが、日本人にとつてなんといつても生活に欠くことができません。

富士市でも富士山麓の丘陵地を利用して年間3245トン、3億6780万円を生産しています。ところが今年は、晩霜の被害で新茶の収穫は昨年より少なく、このため値段も2割高となっています。

多かった野菜の量目不足

全商品100グラム当り11セントの値上り

毎日の生活に買物は欠かすことのできないものです。

牛肉100グラムで120円。今日は安かつたとか、高かつたとか、毎日の買物に苦労されていると思います。

ところが、食品などを買って家に帰ってから目方を計る人はほとんどいないと思います。値引をしてもらつても量が少なければ、安い買物をしたのか、高い買物をしたのかわかりませんね……。

そこで、富士駅北地区の婦人生活学級の計量モニター20人は、試し買いによる量目調査を行ないました。調査は食料品と洗済の22品目を対象にし正味量表記商品とはかり売り商品の目方が正しいかどうか、また前回と比べて物価はどうであるかについて調べました。

正量の基準は、誤差プラス4セントから、マイナス2セントのものを正量に、不足はマイナス2セントを超えるもの、過量は4セントを

えるものとしています。

正味量表記商品（袋容器に密封され、内容量が表記されている商品）は、全体の20セントが、量が多いか少ないかでした量が正確であつたのは、食肉、魚貝卵などの9商品でした。量が少なかったものは菓子、豆類、水産加工品、野菜でいずれも20セント以上の不足でした。特に悪かつたのは野菜で39.3セントの不足でした。これは長い時間店頭にあつたため目方が減つたのだと思われます。

はかり売り商品は、全体の約27セントが量が多かつたり少かつたりでした。量が正確なのは3商品で、15セント以上の不足は9商品もありました。特に悪かつたのはお茶とバター、チーズ類でした。

前回（昭和45年7月～9月まで）と今回

の物価を比べると、全商品100グラムあたりの値段は平均11.1セント高くなっています。

1年に1割以上も値段が高くなっているということは、家計を預かる主婦にとつてたいへんなことですね。品物によってはかり売り商品の方が得なもの、正味量表記品が得なものがあります。不用な買物みえ買などしないで、より上手な買物をするようにし

みましょう



件数 228件
(3月までに677件)

死者 5人
(3月までに 8人)

負傷者 124人
(3月までに333人)



四月の 火災件数 交通事故



9件発生
(3月までに 27件)

損害額 138万円
(3月までに1256万円)

負傷者 1人
(3月までに 死者1人
負傷者3人)

届かなかつた回覧板



問 先日のことです。朝、市役所の方が見えて「今日は町内一斉防疫の日です」といわれるのです。とつぜんのこと、びつくりしました。あわてて台所をかたづけ

けるやら、小鳥を外に出すやら大騒ぎでした。いつもは回覧板で通知があるのに、どうして今度は連絡がなかつたのでしょうか。とつぜんのこと、びつくりしたのは決して私一人ではなかつたと思います。

ましてや病人のいるお宅や、留守がちのお宅など、どうするのでしょうか。防疫の日と時間は、あらかじめ回覧板で知らせてほしいと思います。
(松本・主婦)

行事は「おしらせ版」で

答 催し物や防疫、予防接種などのお知らせは、広報ふじや回覧板などを通じて行なつてきました。ところが隣りから隣りへ届けられる回覧文書によるお知らせ方法では、時間がかかりすぎて、間にあわなかつた、知らなかつた、という苦情が多く出ていました。

このため、広報ふじのように各家庭に1部ずつ届けられ、保存できる方法を検討し、お知らせを集約した「暮らしのたより」を発行することになり、4月からみなさんのお宅にお届けしています。

松本地区の一斉防疫日程は、4月15日発行の暮らしのたよりに掲載いたしましたが、第1号なので見おとされたかと思ひます。

暮らしのたよりは、広報ふじと区別できるように紙の色も換え、薄い緑色にしました。発行日は5日と15日の月2回で、掲載するお知らせの日程も全家庭に届いてからはじまるように、15日間の余裕をもたせてあります。

今後、市からのお知らせは突発的なものをのぞき、全部暮らしのたよりに行なつていきますので、広報ふじとつしよに綴つて保存しておいてください。(企画調整部広報課)



定額保険料と所得比例保険

問 私は国民年金の保険料を毎月450円納めていますが隣りの家では800円納めていて聞きました。これはどういう訳でしょうか。

答 国民年金の保険料は、定額で毎月450円です。しかし、所得のある人で希望者は、このほか毎月350円の所得比例保険に加入することができます。この両方の保険料を合すると800円になります。

所得比例保険制度は、昭和45年10月に設けられたものです。高い保険料を納めるので、将来受ける老令年金、通算老令年金、死亡一時金の額がふえます。

しかし、所得比例制度といつても他の年金制度のように、幾通りにも保険料が分かれておらず、350円の本建てで、いわば付加保険料といえるものです。

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。急病などでお困りのときにご利用ください

- 6月4日
 - 外科 米山病院(吉原4 52-3060)
 - 川村医院(富士中島 61-4050)
 - 産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

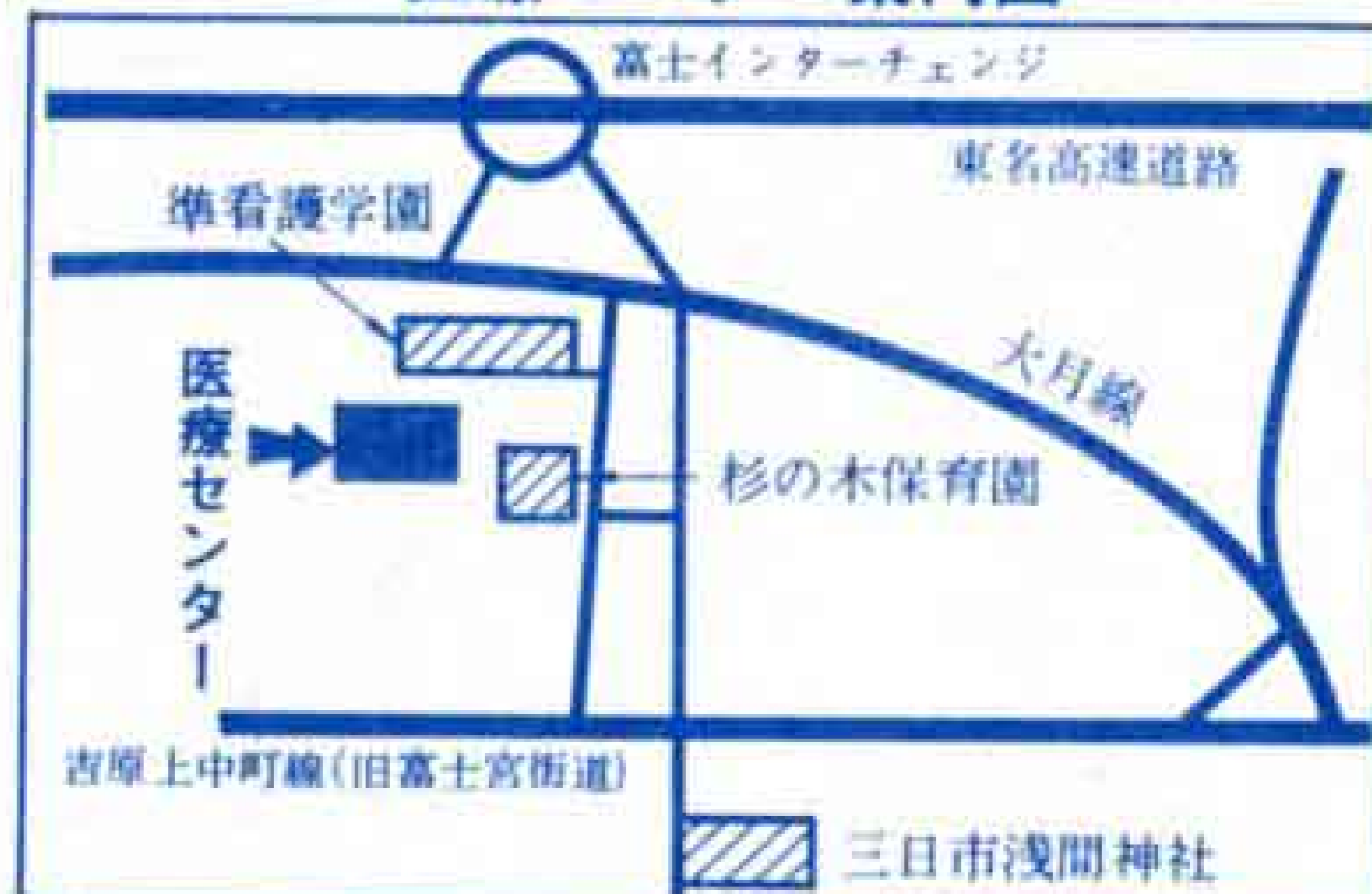
- 6月11日
 - 外科 渡辺病院(錦町 51-3751)
 - 宮下医院(平垣 61-0376)
 - 産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)

- 6月18日
 - 外科 清河医院(広見町6 52-6212)
 - 中央病院(本市場 61-8800)
 - 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

- 6月25日
 - 外科 秋山医院(富士岡 34-0075)

- 望月医院(本市場 61-0401)
- 産婦人科 山下医院(西国窪52-0611)

医療センター案内図



※内科は富士医師会が「医療センター」で行ないます。診療時間は午前9時から午後5時までで、時間外の診療はいたしません。

• 医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町) 電 52-3104」です。



お母さんもいっしょに運動会
=大淵第2小学校区=



県営住宅団地で写生大会
=原田小学校区=

親子そろってリクレーション大会

市内の子ども会は、各小学校区につくられ会員は約12000人。地区ごとに活発な活動をしています。今年も5月5日の子どもの日を中心に、写生大会、ゲーム、運動会などが行なわれました。あいにく5日の子どもの日、14日の母の日など雨にたたられ、行事も延期されたりしましたが、各会場はお父さんお母さんといっしょの子どもたちでいっぱいでした。なかでも、富士第1小学校区のみなさんは、雁堤で、ソフトボールや、写生、フラワーデザインの講習、タコあげなど多彩な催しを行ないました。



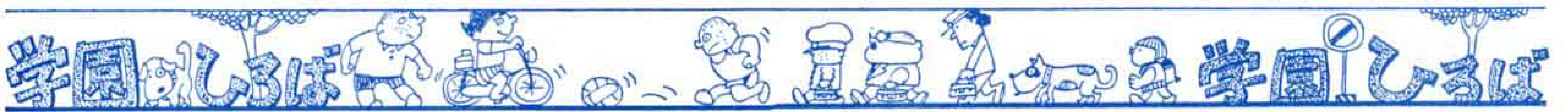
雁堤でソフトボール大会
=富士第1小学校区=



フラワーデザイン講習会
=富士第1小学校区=



友だちが“背くらべ”を合唱 =元吉原小学校区=



学校自慢

4年連続優勝ねらう体操部

…吉原第3中学校…



吉原第3中学校の自慢といえば、なんといつてもスポーツだ。昨年は、中体連富士地区で総合優勝をしたんだから、自慢したくなるのも当然かな。とくに、中体連県大会でベスト8をめざすサッカー部と、4年連続優勝をねらう体操部は、わが校の花形だ。モウレツな練習ぶりを放課後のグラウンドに、体育館にひと目見れば誰でも納得できるだろう。

サッカー部員は現在30名。3度の食事よりサッカーが好きなんだ、なんて言いながら、放課後のグラウンドに飛び出して行く姿は、本当にたのもしい。今年春の県大会で藤

枝市立大州中学校を破り、県大会ベスト8の目標に一步近づいたイレブンは、毎日、汗とほこりにまみれて練習している。

サッカーと並ぶ、もうひとつの3中自慢は体操部。「体操は美を追求するスポーツだ」という。昨年の主将、杉山先輩のことばに、部員は安心して見ていられる技を美の第1条件に、練習、また練習の毎日。試合よりも練習。こんな努力が今年目標、4年連続優勝をきつと達成するにちがいない。「全力をつくして練習し、全力をつくした試合で敗れることはぼくたちのためにも、後輩のためにも意義があると思つている。」そんな言葉にも自信と余裕が感じられる体操部。今年も花形の座はゆずりそうにない。



今泉小に内藤文庫

…百科辞典など148冊…

よい子たちにもりもり勉強してほしいと、緑ヶ丘の内藤らくおばさんから、今泉小に日本や世界の美術、大百科辞典など148冊の本と図書室の机やイスが贈られました。今泉小では内藤さんの名を取つて「内藤文庫」と名づけ、図書室に置きました。

今泉小の子どもたちは、立派な本がそろつた図書室で、おばあさんの期待にこたえようと贈つてくれた本を参考に、いつしようけんめい勉強しています。

ところが、おばあさんは、子どもたちが元気に勉強するところをみることなく、さきごろなくなりました。



わたしたちのまち



吉永第1小学校
6年
薬科みどり

「1・2・3・4・5…」3階のまどから工場のえんとつをかぞえてみた。吉永は

昔から製紙業の盛んなところで、たくさんの工場がある。そのために、人びとの健康を害するものがでてきた。でも、その工場のおかげで交通は便利になった。

だけど、交通事故がふえて私たちにとって、とても心配な問題になった。町のまん中を東西に県道がとおっている。それにこの町は県道にそつて東西に長く、むかでの背すじのようになっている。新しい家や工場は南や北へどんどん広がっていく。そのため町のはしからはしまで南北に道が県道を横ぎつて、交差点が多

い。学校で勉強していても1日に何回も自動車の急ブレーキの音が聞こえてギクツとする。救急車のピポピポという音が流れていく。昨年も学校の前で三年生の男の子が道を横ぎろうとして車にはねられた。

これからも交通がふえ、事故もふえていくだろう。だから生徒の登校する、特別な道をつくつてもらいたいなあ。

私たちが生まれ成長していく土地だ。住みよくするためにみんなのちえをだし合つて、私たちの吉永にしたい。

